



R7福スポ協ニュース

公益財団法人
福島県スポーツ協会

令和7年6月13日 (No.25-1)

「スポーツと未来へ ふくしまプライド」 令和7年度の取り組みがスタート！！

スポーツと未来へ

ふくしまプライド

公益財団法人福島県スポーツ協会
Fukushima Sport Association

日頃より本協会事業にご協力とご理解をいただきありがとうございます。

令和7年度も「スポーツと未来へ ふくしまプライド」のキャッチコピーのもと、スポーツに携わるすべての県民の皆様のために、スポーツの発展や健康の維持増進に関わる各種事業に全力で取り組んで参ります。

現代社会において、身体的、精神的、社会的に良好な状態を指す概念であり、幸福や充実した生活を意味する

「Well-being (ウェル・ビーイング)」という考え方が注目されています。この「Well-being」な社会の実現に向けて、スポーツの価値を守り、その力を高め、社会に還元していくことは非常に重要なことであります。

本協会でも、競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、医療関係団体等と協力・連携を図り、本県の子どもたちが安全にスポーツに親しめる環境の整備や県民の皆様の多様なニーズに応じた各種事業の展開によって、福島県のスポーツのさらなる発展に寄与して参ります。今年度もよろしくお願いいたします。

令和7年度の目標について

「Well-being」な社会の実現



本協会は、競技力の向上と生涯スポーツの推進を二大目標として掲げ、公益財団法人日本スポーツ協会や県・市町村及び加盟団体と連携を図りながら各種事業を推進し、「スポーツに強いふくしま」の確立に努めます。

1 競技力の向上

本協会は「スポーツに強いふくしま」の確立を図るため、加盟競技団体、福島県中学校体育連盟、福島県高等学校体育連盟等との連携をより密接なものとし、競技力向上に向けた各種強化事業を積極的に推進します。

2 生涯スポーツの推進

県民の誰もが、豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」をめざして、各関係組織・団体と連携し、生涯スポーツ事業の推進に努めます。

「チャリボロ」で、心をつに！



詳細は、右記の二次元コードをご参照ください。





R7福スポ協ニュース

公益財団法人
福島県スポーツ協会

令和7年6月27日 (No.25-2)

北村 清士 会長 再任



【理事会であいさつする北村清士会長】

「スポーツで私たちの日常に彩りを！」

6月17日(火)、福島県庁本庁舎5階正庁にて、令和7年度定時評議員会並びに第2回理事会を開催しました。

午後の理事会において、任期満了に伴う役員改選では、北村清士(きたむらせいし)氏が、令和7・8年度の会長に再任されました。北村氏の会長就任は令和5年度から2期目となります。

北村会長は、「国スポの在り方の見直しや部活動地域移行など、スポーツを取り巻く環境は日々変化していくが、スポーツが持つ価値や効用は不変で、私たちの日常に彩りをもたらしてくれるものである。これまで以上に本県スポーツの振興に取り組み、明るく豊かで活力あふれる県民の育成に貢献していきたい。」とあいさつしました。

スポーツをもっと科学的に！！

ケガ予防からパフォーマンスアップまで、専門家がサポートします！

「スポーツ医事・トレーニング相談事業」

【今年度5月までの活動の様子(12件実施)】

(公財) 福島県スポーツ振興基金助成事業
公益財団法人福島県スポーツ協会

スポーツ医事・トレーニング相談事業

スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に關する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行います。健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的としています。依頼により、相談員・講師を派遣します。(講師に係る経費は本協会が負担します。)

講師派遣の内容例	相談員・講師
- スポーツ外傷・障害の基礎知識 - スポーツと栄養 ●アンチドーピング - スポーツ心理学 ●けがの応急処置 - 女性アスリートの指導 など	本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、スポーツ栄養士部会員、JADA公認スポーツファーマシスト、その他スポーツ医・科学委員会の認めた相談員・講師を派遣します。

●過去の相談例を本協会HPで閲覧できます。

お申し込みはこちらから



【令和6年度の主な実施内容】

- ・ トレーニング(筋力・体幹・ストレッチ等)
- ・ アンチ・ドーピング
- ・ スポーツと栄養
- ・ メンタルトレーニング(スポーツ心理学)
- ・ けがの予防、スポーツテーピング、応急処置
- ・ 女性のスポーツ指導
- ・ コンディショニング

「適切な身体の使い方」



「スポハラ防止について」



「コーディネーショントレーニング」



「アンチ・ドーピング研修会」



「スポーツ栄養学講座」



「食生活改善セミナー」





認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会開催(7/27)

令和7年度福島県スポーツ協会認定スポーツ栄養士スキルアップ講習会を、福島県青少年会館にて開催しました。県内各地から19名のスポーツ栄養士の方々が参加し、講義やワークショップを通して研修を行いました。

開講式：あいさつ

【中村 啓子 スポーツ栄養士部会長】

【酒井 有理子 スポーツ栄養士副部会長】



本講習会の目的は、スポーツ活動において、専門的なサポートを担当するスポーツ栄養士としてのスキル向上です。今後それぞれの立場で、本県のスポーツの振興に更なる御活躍をいただきたいと思います。

この講習会が、スキル向上に加え、県内各地の認定スポーツ栄養士の「仲間づくり」の場となり、我々のチーム力向上にもつながることを期待しています。



講座内容(集合講座)



【①女性アスリートのスポーツ障害と栄養について】 山口 明子氏(県立医科大学産科婦人科学講座准教授)】

月経に関する内容を中心に、女性アスリートが陥りやすい症状とその管理について、具体的な事例を含めた専門的なお話をいただきました。



【②スポーツ貧血の予防と改善】 菊池 悟氏(医療法人社団敬愛会理事長)】

血液の仕組みや貧血のメカニズム、ドーピングに関する内容など、参加者に分かりやすい表現を用いて、丁寧に説明していただきました。



【③スポーツの現場から(ソフトテニス)】 青木 祐輔氏(県スポーツ協会生涯スポーツ係)】

競技特性や選手の実態、指導者が抱える課題などに対する解決策を参加者同士がワークショップ形式で話し合い、考えを深めました。



【④実践報告(栄養アセスメントについて)】 武藤 真紀氏、武田 美香氏(公認スポーツ栄養士)】

JSPO 公認栄養士 2 名による実践報告があり、栄養アセスメントにおける写真法や聞き取りの注意点や工夫点についての説明がありました。



【参加者の声】

- ・ 実際の医師と栄養士との連携について聞けて、参考になった。
- ・ 月経の重要性をしっかりと伝えられる栄養指導ができるようになりたい。
- ・ 貧血の種類やそれぞれの治療、病態について学ぶことができた。
- ・ お互いの意見をディスカッションすることで、多くの情報を得られた。
- ・ 自分がアセスメントする場面でも同様の悩みがあり、とても勉強になった。



公認アシスタントマネジャー養成講習会を開催しました！



<クラブ運営の入門資格 公認アシスタントマネジャー>

総合型地域スポーツクラブのクラブ運営を支える人材を育成するための認定資格です。主に地域スポーツクラブの事務・運営補助やイベント運営のサポートを担う基礎的な知識と技能を学びます。クラブを支える運営スタッフの入門資格という位置づけであり、その上位資格として、公認クラブマネジャーがあります。

8月30日(土)・31日(日)の両日、キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)において、令和7年度公認アシスタントマネジャー養成講習会を開催しました。

クラブ運営に必要な基礎知識や役割について学び、講義と演習を通じて理解を深めました。受講者は6名と例年より少ない人数での講習会となりましたが、少人数ならではのアットホームな雰囲気の中で、受講者同士の意見交換も活発に行われ、実践的な気づきが多く得られました。

今回参加された皆さまには、今回の講習会で学んだことを、地域を元気にする取り組みの一助として活かしていただければと思います。

講師紹介	「地域スポーツクラブとは」 「地域スポーツクラブの現状」  福島市立福島第二小学校 菅野 裕 氏	総合型地域スポーツクラブ 「マネジャー講話Ⅰ(県内クラブ)」  NPO 法人たまかわ元気スポーツクラブ 鈴木 広美 氏	「クラブマネジャーの役割」  早稲田大学スポーツビジネス研究所 松澤 淳子 氏
	総合型地域スポーツクラブ 「マネジャー講話Ⅱ(県外クラブ)」  NPO 法人スポネット弘前 鹿内 葵 氏	「クラブの運営」 「法人格取得」  県文化スポーツ局文化振興課 渡部 大地 氏	「クラブのつくり方」・「クラブの運営」  国見町総合型地域スポーツクラブ ももたんスポーツクラブ 半澤 由美子 氏



研修会の様子

- 実際に活動されている方のお話を聞き、地域スポーツを支える立場としてとても参考になった。
- 社会課題、地域課題の解決のために尽力していきたいと思った。
- スポーツを目的ではなく手段とすることで、様々な地域貢献が図られるということが分かった。大きな可能性を感じた。

声の壁紙